

防 災害対策

洪水・地震・津波などの災害に備える。

台風などによってもたらされる洪水をはじめ、地震や津波といった様々な災害に対応するため、あらゆる対策を講じています。

災害対策室

大洲河川国道事務所では災害発生の恐れがある場合に災害対策支部を設置し、被害情報等の収集や連絡体制を整えるために防災拠点の要として災害対策室を設けています。ここで災害に応じた、正確な情報を把握し、速やかに公表・伝達を行うとともに、迅速かつ的確な災害対応を行います。

●河川情報システム

流水管理を円滑に行うため、テレメータを用いて雨量、河川水位、水質、ダム貯水量等を広域に集計処理するシステム。

●道路情報システム

安全かつ効率的な道路の利用のために、道路や気象等の情報を総合的に収集・処理するシステム。

●レーダー雨量計

降雨量をリアルタイムで広域的に捉えることの出来るシステム。

●CCTV

河川や道路の状況を監視するため、設置されているカメラ。

●樋門操作監視装置

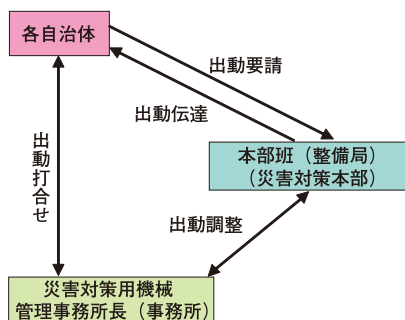
各樋門の状況を監視する装置。

地震対策・対応

南予地方の全ての市・町は、内閣府が定めた「南海トラフ地震防災対策推進地域」に指定されています。大洲河川国道事務所においても、橋梁の耐震対策や堤防点検の実施、また大地震を想定した訓練等により、大地震に備えています。

災害対策用機械自治体等支援

四国地方整備局が災害対策用として保有する建設機械を自治体からの要請に応じて派遣しています。



災害対策用機械一覧表

機械名	規格	台数	保管場所
排水ポンプ車	150m ³ /min 水中モーターポンプ式	1	肱川防災 ステーション 〔若宮車庫 柿早車庫〕
	60m ³ /min 軽量水中モーターポンプ式(高揚程)	2	
	30m ³ /min 軽量水中モーターポンプ式	2	
	30m ³ /min 軽量水中モーターポンプ式(高揚程)	3	
	1.2kw×6灯(LED式)・4×2	2	
照明車	2kw×6灯・4×2	1	大洲国道出張所
待機支援車	バス型	1	
照明車	1.2kw×6灯(LED式)・4×2	1	

(令和7年4月現在)



施工前

●橋梁耐震対策
橋梁においては地震に耐える構造を目指す為、橋脚の補強を行っています。



施工後



災害対策用機械の活動状況

河川・道路情報の提供機能の高度化

四国では台風・豪雨の自然災害に伴う河川の氾濫、道路の通行止めが多いことから、河川や道路交通に関連した多様な情報を利用者や国民に情報提供します。

河川・道路状況把握機器の整備

収 集

道路監視カメラ

・道路状況の把握
・法面、構造物の監視
道路監視カメラの画像は当事務所のHPで確認することが出来ます。

レーダ雨量

・雨雲の状況の把握

雨量計

・気象情報(雨量)の把握

路面凍結検知装置

・路面状況の把握

水位計

・気象情報(水位)の把握

河川監視カメラ

・河川状況の把握 ・河川構造物の監視
河川監視カメラの画像は当事務所のHPで確認することが出来ます。

道路情報板



・通行規制情報などの提供

道の駅

・道路状況などの提供

取得された河川情報・道路情報は携帯やパソコンで確認することができます。

●河川情報

河川に関する情報は
『川の防災情報』
をご利用ください。

<https://www.river.go.jp/>



●道路情報

四国の交通規制・道路気象情報は
『四国地方整備局
道路情報提供システム』
をご利用ください。

<https://www.skr.milt.go.jp/road/info/>

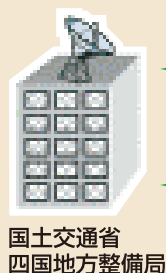


※通信料は個人負担となります。

情報提供イメージ図

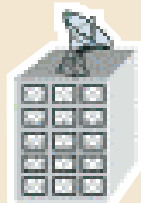
管 理

提 供



国土交通省
四国地方整備局

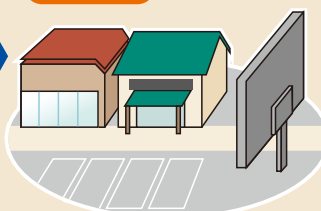
情報の共有



国土交通省
河川国道事務所
(道路情報)

提 供

道の駅



・「道の駅」提供システム

インターネット

・河川情報提供システム
・道路情報提供システム
・携帯電話提供システム

